



お金の使い方
まちがってませんか？



あなたの声
お聞かせ
ください!

子育て世代の代表として

子どもの幸せ第一に

「待機児童ゼロ」のウラで、電車や高速道路の高架下やビルの高層階などに園が設置され、保育環境が悪化していることを指摘。また運営費の目的外使用も告発。子どもたちの成長にふさわしい整備をすべきと指摘し続けてきました。



全国でも神奈川でも当たり
前の中学校給食の実現を！

全国の8割以上の学校で実施され、川崎市でも実施が決まっています。20の政令市で全くの未実施は横浜だけ。家庭弁当に固執する教育委員会に対して、この間何度も実施を迫ってきました。

身近な道路整備、 防災対策こそ

政治姿勢が問われる

高速道路の予算はこの５年で２．３倍に膨れ
 上る一方、歩道やガードレールなどの身近
 な整備費はこの５年で６割に激減。２０１３
 年度は、歩道が一区当たり平均１４．６ｍしか整
 備されていません。

巨大新市庁舎に667億円!?

市は2020年の東京オリンピックまでに北仲通南地区に、667億円もかけて市庁舎建設を計画。日本共産党のアンケートに57%の方が反対(賛成12%)。区役所の機能拡充と現庁舎を活かしたコンパクト設計にすれば200億円でできます。



安心・安全の住環境へ

カジノ合法化・誘致反対

今でもギャンブル依存症の有病率が高い日本。青少年への悪影響、暴力団の関与・犯罪を誘発するカジノ誘致には、絶対に反対です。税収増や経済効果も根拠はありません。もっと真つ当な経済対策を進めるべきです。

**原発・放射線被害から
市民の安全を守る！**

3.11以降、放射線による健康被害への不安が高まる中、区内各地を線量計で測定したり学習会を重ねて、議会でもこの問題を取り上げてきました。鶴見区から原発ゼロを求め続けていきます。



市議会の「ヒジョーシキ」を徹底追及

海外「視察」に 議員1人120万円!?

全国でも自粛している地方議会での海外視察が横浜では当たり前に行われ続けています。この4年間に43人の議員が参加。1人当たり120万円の予算が付けられています。日本共産党は参加せず、必要な視察は1人当たり月額55万円の政務活動費の枠内で行くべきと考えます。

[illegible]

高い歳費のうえに 「費用弁償」!?

議会に出席する議員に居住区に応じ1000円～3000円を支給する「費用弁償」は年間1200万円にも。7年前に廃止したものを自民・民主・公明などが復活。障害者の福祉パスは有料化して、議員には実費以上の支給。日本共産党は再び廃止を主張しています。

コンビで
必ず

県政+市会コンビで必ず
国政・県政と力あわせてがんばります



「原発いらない」「消費税増税はとんでもない」「戦争する国はゴメンだ」「雇用と賃金を増やして」この願いを昨年末の衆議院選挙では、多くの皆さんが日本共産党へと託していただき、大きく議席を伸ばすことができました。日本共産党は、国政でも地方でも市民の暮らしや安全をおびやかす政治にきちんと対案を示し、現実政治を動かしてきました。また、ロシアや中国、北朝鮮、アメリカなどどんな国とも、自由と民主主義を守る立場で話し合いによる平和的な外交を進めています。

お気軽に

いつでもどこでも生活相談

介護、近所とのトラブル、生活保護、離婚

皆さんのお困りごとには、すべてご相談に応じています。時間のかかることもあります。専門家の協力も得て、一人ひとりが安心して暮らせる社会をめざしてがんばっています。

ケイタイ電話にご連絡ください。

連絡先 090-6528-9414 (携帯)

045-504-5121 (事務所電話)

y-furu3941@triton.ocn.ne.jp (個人PCメールアドレス)



全国トップクラスの
情報発信

日本ブログ村ランキング、ツイッターのフォロワー数やフェイスブックの友達数も、地方議員でトップクラス。

日本共産党
横浜市議員

古谷 やすひこ
こんにちは

古谷やすひこ事務所
2015年号外

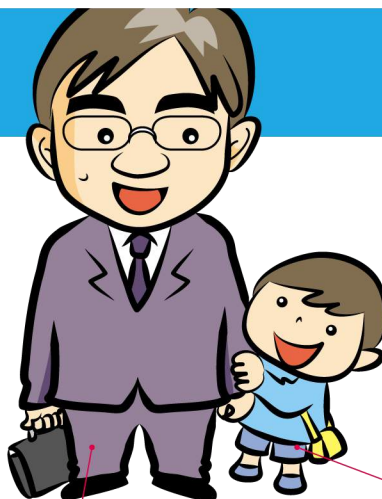
日本共産党鶴見区事務所
横浜市鶴見区瀬田町 2-120-2
電話 045-504-5121
FAX 045-504-7331

全力で走ります

私は、自動車修理工場で働く父母のごく普通の家庭に育ちました。経済的問題から、昼は働きながら大学夜間部で4年間学びました。その後医療の現場で働き、お金がなくて病院に通えない、そんな方たちと一緒に行政に働きかけ、暮らしを変えるお手伝いをしてきました。そこで、社会保障の抜本的拡充こそが必要だと感じてきました。

そんな経験から、普通に働き・暮らす市民の目線で、普通の生活も立ち行かない人々に心を寄せて働けることを、議員としての誇りとしています。

古谷 やすひこ



子育て真剣勝負

子育ても議員活動も手を抜けません。疲れます。どちらもかけがえのない命につながっています。

防災実践。
現役消防団！

地元消防団に入団。わが身で実践して、防災の大切さ・大変さがわかりました。



プロフィール 1971年10月14日 大阪府泉佐野市生まれ。43歳。横浜市鶴見区矢向在住

- 27歳で結婚。家族は妻と4人の男の子(中3・小6・小4・小0歳)。保育園に預けながら共働きで4人の子育て中です。
- 中央大学法学部法律学科(夜間部)卒業後、公益財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院事務次長などに従事。現在は同協会顧問。2011年横浜市会議員(鶴見区)初当選。
- 地元矢向の消防団でも活動。横浜鶴見消防団第九分団員(2013年区操法大会出場)。

趣味：本屋さんめぐり、オートキャンプ

特技：山芋たっぷりのお好み焼き作り

なんでもありの生活相談！

携帯電話が
手離せません！

4人の子育て真ん中！

議員と子育て
全力です。

防災実践。現役消防団！

徹底的に
現場主義！

子育ても 老後も

日本一の横浜・鶴見区へ！



日本共産党
横浜市議員

古谷 やすひこ
ふるや
やすひこです

このリーフレットは皆さんの募金によって作成しています。